

令和6年度第2回東大和市子ども・子育て支援会議 要録

〔日 時〕 令和6年7月3日（水）午後2時～3時30分
〔会 場〕 中央公民館 301学習室
〔出席人数〕 委員9人（2人欠席）
〔傍 聴 人〕 1人
〔内 容〕

1 議題

○審議事項（1）「東大和市子どもアンケートについて」

【事務局】市内小学校に在学する小学校6年生の児童、約720人を対象に、7月15日～9月1日の期間にWEBで回答してもらおうアンケート調査を実施予定。

【委員】アンケートは5分～10分で回答できる内容のため、7月15日～9月1日の調査期間は長いと思う。また、自宅で回答ということだが、学校で一斉に回答することも可能であると思った。自宅で回答となると、回答しない子も多いと思う。さらに夏休みの期間であると学校側も声をかけられない。夏休み期間を入れるならスタートを早くして7月末くらいまでを期限にしても良いと思う。もしぜひ夏休みを入れた方がよいのならば2学期に入ったところまで期間を延ばせば学校側も声をかけられる。

【会長】学校のホームルーム等の時間を使い、一斉に回答することは効果的だと思う。意識を集中させて短時間で実施することで今思っている素直な声を聴き、回答率の向上にもつながると思う。

【委員】東大和市では、総合的な学習の時間で、地域に根差した探求的な学習を実施している。それにも合致するものなので、このアンケートも総合的な学習の時間に実施することは可能と思う。さらにこの720人の回答率を50%ではなく、できれば100%近くの子どもたちに回答してほしい。

【会長】授業の一部を使って実施することを避けたいという意図がないのであれば、回答率を確保するため、子どもたちが答えやすいように学校で行う方向で進めていく方が良いと思う。

【委員】私には中学校1年生の子どもがいるが、去年を思い出すとスマホを持っている子はクラスに半分くらいで、学校で貸与されるパソコンも持って帰っている子はあまりいなかった。そうすると今年の6年生も持ち帰るか不明なので、学校でやった方が良いと思う。

【委員】子どもによっては「やりがいを感じていることは何ですか」という質問を理解することが難しいかもしれないが、回答時に先生がいてくだされば質問できるので良いと思う。

【委員】授業の中でやるかどうかは学校の裁量になる。総合的な学習の時間にアンケートを行うことはうまく合致できるが、学校によっては授業中にやるのは難しく、帰りの時間にやるとか、もしくは最終的には自宅で回答という学校もあるかと思うので、それぞれの学校ごとに判断してもらおう。なるべく環境を整えるように、私が学校に発信することはできるとは感じている。

【事務局】実施期間を前倒し、7月末までの期限でアンケートを実施したいと思う。

【委員】 アンケートをやって満足ではなくて、アンケートの結果を反映させてほしいので、アンケートをやったその後のスケジュールを教えてください。

【事務局】 次期子ども・子育て未来プランの骨子等に反映していきたいと考えている。また、子どもたちへのフィードバックも検討している。

○審議事項（２）「東大和市児童館インタビューについて」

【事務局】 市内の児童館３か所（むこうはら児童館、ならはし児童館、かみきただい児童館）で、7月中旬から下旬にかけて「放課後の過ごし方」、「市役所にお願したいこと」などをテーマに子どもたちから率直な意見を直接聴く取組を行う。

訪問日時に児童館に来られない子どもが意見を伝えられるよう、チラシに記入欄を設け児童館に提出してもらって意見を聴取する予定。インタビューで聞いた意見を未来プランや今後の施策の参考にしたと考えている。

【委員】 子どもアンケートの対象となっている6年生以外をインタビューでカバーできれば良いが、児童館には高学年の子や中学生はあまりいない。小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちがバランスよく色々なインタビューで回答できる機会があると良いと思う。

【委員】 インタビューというからにはインタビュアーの方がいて、マイクを向けてインタビューして、動画で撮ったりするのかなと思ひまして、インタビューをされて、J:COM等で繰り返し放送されたりっていうのがあったらかなり興味を持ってくれると思う。

【会長】 マイクを向けてカメラを回すと、そういうのを意識した形での回答になって、日常中の要求や意見が出てこなくなる可能性もある。インタビューしていることを意識づけてやった方がいいのか、そうでない方がいいのか、委員の皆さんは、保護者の立場から考えるてどうですか。

【委員】 小学校3年生の娘はマイクを向けられたくないタイプですが、友だちにはしゃべりたい子もいるいろいろな子がいる。元気な男の子とか授業中も手を挙げるような子は言いたいし、意見もいっぱい言ってくれる。けれど、恥ずかしいと思う子は言いたいことはあっても言えない。紙に書くことはできると思う。

【会長】 そういうお子さんのコメントを聞きたい。その場合さすがにマイクとカメラ向けるパターンでない方がいい。子どもが安心してリラックスして受け答えできるような形でやると良いと思う。

【委員】 さくらがおか児童館が工事中で閉館しており、子どもが遊び場がなくて困っている。ランドセル来館も今週から学校での実施になり、ほかの教室や図書室に行けなくて悲しんで帰ってきた。一般来館でみのり福祉園まで行くとすると遠くて一人では行けないから、学校に行くか悩んでいる。今まで一般来館でさくらがおか児童館に来ていた子はどうするのか。

【事務局】 南街、桜が丘市民センターは工事のため7月1日から11月30日までの間、閉館している。その間、第二、第八、第十小学校でランドセル来館を、みのり福祉園で一般来館を行っている。初日はさくらがおか児童館のランドセル来館は十小に18人、八小に16人。みのり福祉園の一般来館に小学生が6人、乳幼児のお子さんとお母さん1組が来ていた。

十小に近いかみきただい児童館は、一般来館は若干増えている。環境が変わる中でも行きたくないという声が出ないように、日々工夫しながら事業を行いたい。

【委員】インタビューを受けられなかった子が意見を書ける部分があるが、学年を記載する欄を作った方が良いと思う。

【会長】放課後の過ごし方、遊び場、市役所をお願いしたいこと、大きい柱としてはその3つで、これをインタビューするとき、対象となる年齢等々配慮した上で聞くと思うが、テーマは一応3つぐらいの大きな柱ということでよいか。ほかに加えたいことはないか。

【委員】6年生の子がいるが、児童館ではつまらなくて児童館以外で遊んでいる。親が仕事に行って一人で家にいられないから児童館に来る子もいると思うが、公園でなくてあえて児童館に遊びに来る子どもたちに対してならではの質問が良いと思う。

【委員】質問内容よりも聞き方だと思う。コミュニケーションとってもらえたら、子どもたちが言いたいことを言いやすいと思う。

【委員】児童館に行かない子も多いですし、児童館のインタビューだけで東大和市の全体の放課後の意見にはならないと思う。児童館に来ている子たちはもう児童館っていう遊び場がありますし、その旨を認識して実施してほしい。

2 報告事項

○報告事項（1）「令和6年度の保育所等利用待機児童数について」

【事務局】令和6年4月1日現在の待機児童について、令和3年度から4年連続で待機児童ゼロを達成することができた。申込者数は令和5年度とほぼ横ばいの状態。ただ、市内の就学前の人口については引き続き減少傾向にある。そのことを考えると、就学前の人口に対する保育所の利用率が上がっている形が統計上出てきていると思う。

○報告事項（2）「令和6年度の東大和市青少年健全育成方針について」

【事務局】子ども・若者の周りでは、ネットやスマホによるいじめ、犯罪や不適切な有害情報、薬物などによるトラブルが多発している。令和4年度の青少年のインターネットの利用率は、小学生で約98%、中学生、高校生は99%であるため、今年度の育成方針は「SNS・ネットトラブル・犯罪や薬物に注意しよう！！」を目標として掲げて方針を策定した。

3 その他

【委員】先日実施されたニーズ調査で、中学生からの自由意見に「市内に自主的に勉強できるスペースが欲しい」という意見があり、確かに、塾等に通っている子は塾の学習室とかを使えるが、通っていない子は勉強できるスペースがないのかなと考えていたら、市報に、この中央公民館に夏休み自習スペースが開設されていた。試行と書いてあったが、ぜひ無料でできる勉強スペースがあればよいと思った。

【委員】中央図書館は利用者カードを持っている人は会議室で自習できるように開放している。

【委員】桜が丘市民センターも自由に使える和室や会議室などスペースがあるが、使っていないときは開放してあげるべきである。利用時間内なら職員がいるので可能であると思う。せっかく会議室があるのに何も使っていないともったいない。

【委員】高校生による盗撮に関するニュースを見た。施策、サービスの向上だけでなく、行政や地域でも悪いことであるということを周知徹底してほしい。